

オレンジロードつなげ隊による認知症啓発活動

(世界アルツハイマーデー福知山城オレンジライトアップに合わせた街頭啓発)

世界アルツハイマーデー(※)の一環として、平成27年9月21日(月・祝)午後6時15分から、福知山城を認知症支援のオレンジ色にライトアップしました。

また、フレスポ福知山において12名のつなげ隊員が認知症リーフレットやオレンジ色の花の種など様々な啓発グッズを配布し、認知症の正しい知識の理解に向けて街頭啓発を行いました。

若い方にもお声かけができ、認知症のことを考えてもらうきっかけになりました！

※世界アルツハイマーデーとは、1994年にスコットランドで開催された第10回国際アルツハイマー病国際会議を機に、アルツハイマー病等に関する認識を深め、世界の患者と家族に援助と希望をもたらす事を目的として、国際アルツハイマー病協会(ADI)と世界保健機関(WHO)が共同で制定したものです。
会議初日であった9月21日を「世界アルツハイマーデー」とし、例年、この日を中心に世界各国でアルツハイマー病に関する啓発活動が実施されています。



福知山城を認知症支援の
オレンジ色にライトアップ！

街頭啓発
(グッズ配布)



